

2014年12月12日
野村不動産株式会社

報道関係者各位

自然の恵みとともに快適に暮らす新プランの“スーパーパッシブ住宅”
『プライドシーズン府中天神町（全6邸）』誕生！
～入居後も調査を継続し、顧客の声を反映した開発サイクルを確立～

野村不動産株式会社(本社:東京都新宿区/取締役社長:中井 加明三)は、東京都府中市天神町にてスーパーパッシブ住宅「プライドシーズン府中天神町」をご案内する運びとなりましたのでお知らせいたします。

当プロジェクトは、次世代の環境ビジョンを見据えたプライドスマートデザイン「SMART & GROWING」のスマートデザインを進化させた“スーパーパッシブ住宅”です。パークフロントという恵まれた立地に、「センターボイド」「インナーテラス」などの新プランを導入し、自然の風や光を積極的に取り入れることで、従来のパッシブデザインをより強化した快適で省エネの住空間を実現しました。基本設計は、パッシブデザインの第一人者である首都大学東京大学院・小泉雅生教授および小泉アトリエと共同で行い、2014年5月より実際の建物の中で、通風・採光・温湿度環境の調査及び、暮らし方によるエネルギー使用量変化の調査を行っております。

当社では、引渡し後も居住者とともにパッシブの効果測定や座談会、住み心地アンケートなどを実施し、そのデータや声を反映した商品開発サイクルを確立することで、よりよい住まいの開発・提供を目指します。

なお、モデルハウス案内会を12月13日(土)より開催し、2015年1月の販売、3月下旬の引渡しを予定しております。



プライドシーズン府中天神町 完成予想図

《プラウドシーズン府中天神町の特徴》

◆パッシブデザインの効果を高める恵まれた立地

目の前に公園が立地することで、冬は十分な太陽光が確保され、また夏には木々が風を冷やす効果も持ち合わせています。周囲には大規模公園などの緑が豊富にあり、パッシブの効果を高めています。

◆パッシブデザイン第一人者との共同設計

基本設計は、LCCM 住宅デモンストレーション棟の設計にかかわるなどパッシブデザインの第一人者である首都大学東京大学院・小泉雅生教授および小泉アトリエと共同で行い、従来の設備に頼ったパッシブにとどまらず、パッシブに最適なプランニングを作り上げました。

◆「センターボイド」、「インナーテラス」

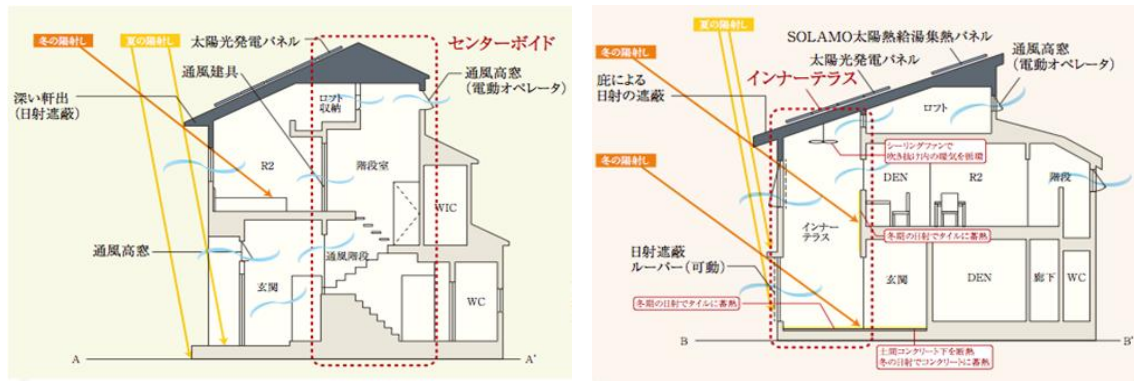
センターボイド(階段室)を家の中央に配置し、さらに2方向に天窗を設けることで、風と光の通り道となる機能を持たせます。さらにセンターボイドに面してスキップフロアを採用することにより、各居室に風が下から上へ、手前から奥へと吹き抜け、快適な住環境をもたらします。

インナーテラスは、住宅の南側に中間領域として設け、蓄熱・蓄冷効果のある床材・壁材を使用することで、冬場は日中の太陽光の熱を蓄え、夜間居室などに循環させます。夏場は遮蔽ルーバーで遮熱した風を2階居室やロフトへ循環させます。

◆好循環な開発サイクルの確立

パッシブデザインの実測調査を入居前だけではなく、引渡し後も入居者と協力し、環境性能測定と住み心地調査等を行います。それらのデータを活用し、精度を高めた快適な住宅開発サイクルの構築を行ってまいります。

プラウドシーズン府中天神町公式 HP: <http://www.proud-web.jp/house/tenjincho/>



「センターボイド」の家、「インナーテラス」の家 概念図



プラウドシーズン府中天神町 完成予想図

【現地案内図】



【 プラウドシーズン府中天神町 物件概要】

所在地	東京都府中市天神町1丁目 12番 14号(地番)他
交通	京王線「府中」駅 徒歩 18分 京王線「府中」駅 「武蔵小金井」駅行きバス約 5分「天神町幼稚園」下車 徒歩 3分 中央線「武蔵小金井」駅 「府中」駅行きバス約 13分「天神町幼稚園」下車 徒歩 3分 中央線「国分寺」駅 「府中」駅行きバス約 13分「天神町幼稚園」下車 徒歩 3分
構造規模	木造(2×4)地上 2階
総区画数	6戸
間取り	4LDK・4LDK + DEN
敷地面積	114.26㎡～114.27㎡
建物延床面積	101.40㎡～116.79㎡
建ぺい率・容積率	60%・200%
売主	野村不動産株式会社
入居時期	平成 27年 3月下旬
設計・施工	西武建設株式会社

■ 本件に関するお問合せ窓口 ■

野村不動産株式会社 広報部（大西・阿部）

TEL03-3348-7805

FAX03-3343-0445

URL: <http://www.nomura-re.co.jp/>